

アメリカザリガニによる 農業水利施設の被害と駆除のすすめ



アメリカザリガニは、令和5年6月1日より
「条件付特定外来生物」に指定されます。
捕獲や飼育は可能ですが、放流や販売・
頒布・購入は禁止となります。

アメリカザリガニってどんな生きもの？

～知っているようで知らない**アメリカザリガニ**のいろいろ～



アメリカザリガニは、北アメリカ大陸から持ち込まれた外来種です。成体は最大で15cm程度になり、赤みが強い体色なのに対して、幼体は淡い茶褐色であることが多いです。

日本国内では、水田や農業水路、ため池、河川に生息しています。高水温や水の汚れに強く、他の生きものがすめないような水域にもすみついています。

繁殖期は春～秋。水温が高い夏場、産卵が特に盛んになり、メスが腹部に卵を抱えて守ります。

食欲が旺盛で、水草、トンボのヤゴ、オタマジャクシ、小魚など、何でも食べつくします。

アメリカザリガニの生活史

ふ化後1～2年で成熟、寿命は4～5年程度

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
越冬期					活動期					越冬期	
</											

アメリカザリガニの日本への持ち込みと国内での広がり

日本固有の在来種 “ニホンザリガニ”



写真：岡山大学学術研究院 中田和義教授提供

北海道と東北北部の河川上流や湖沼に生息する。
体長は7 cm程度と小さく、体は褐色で丸みを帯びる。
環境悪化や**外来生物**による捕食で減少している。

- : ニホンザリガニの分布域
- : アメリカザリガニの持ち込み
- : アメリカザリガニの広がり

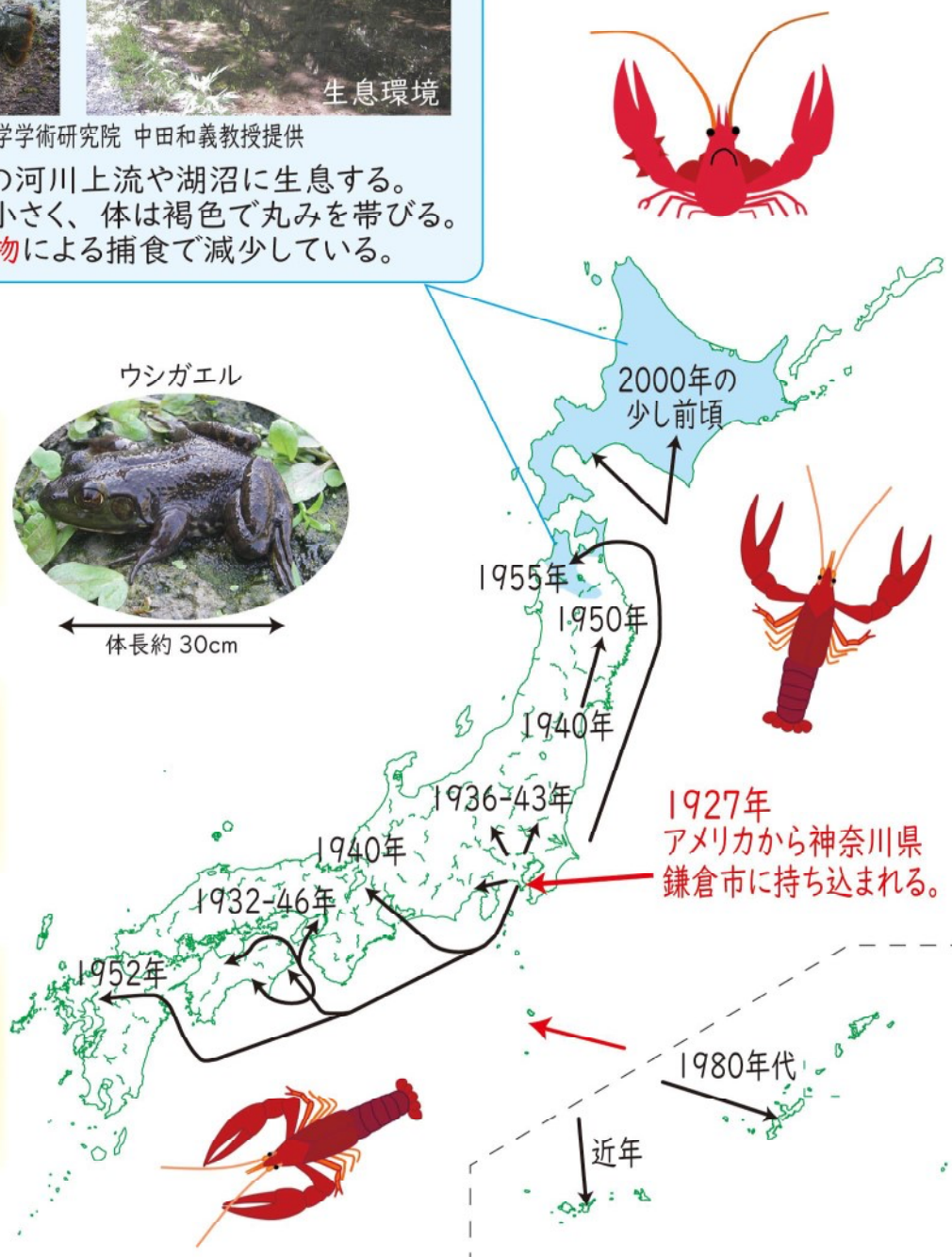
(昭和2年)

1927年にウシガエル
(食用蛙)の餌として
アメリカから日本に20匹
程度が持ち込まれる。



飼育池からの逃げ出しや
放流で日本各地に広がり、
北海道や沖縄でも分布を
広げている。

現在、全国にいる個体は
すべて当初持ち込まれた
ものの子孫とされており、
強い繁殖力と生存力が
うかがえる。



宮下 (1963)、川井 (2007)、自然環境研究センター (2008) を参考に整理

コラム① 松蔵蟹 (まつぞうがに)

全国的にも早期に**アメリカザリガニ**が
持ち込まれた山口市阿東地区

昭和初期、医師の小笠原松蔵氏が東京から
持ち帰り、阿東地区の旧嘉年村の池に放った
ので「**松蔵蟹**」と呼ばれ、地区内の各地に
広がりました。

(出典：阿東地域交流センター嘉年分館資料)

